

療育研修会

静岡県 支部

◆テーマ 介助犬を知ろう 講師 古屋道子

愛知県にある介助犬センター「シンシアの丘」の職員により
プロジェクトを通じて介助犬の育成・訓練・利用者との
合同訓練の様子を学び、又利用するためにどのような手続
するのか、その周辺にどのような問題があるのかを示された。

その後介助犬によるデモンストレーションがあり、
下に落ちた物を拾ったり、携帯を捜し出したり、靴靴下
と脱せたり、冷蔵庫の飲み物を出すという働きを實際目のためにした。

◆テーマ 患者の災害時の備えと対応 講師 徳増 猛

東日本大震災、阪神淡路大震災に災害ボランティアとして
参加し、又障害者の災害対策に係わっている講師より
現在 どの様に言われている東南海沖大地震もあり、
特に患者がどのような困難に陥るのか、そのために
何をどのように備えておくべきかについて学んだ。
起きた時どこに避難する？できるか、又停電、
ラインの回復にどう備えるのかよいか等々、
安否確認もままならない状況では災害ダイヤルを
使えるよう予備訓練が大切とも教えられた。

療育研修会実施状況 静岡 支部

参加数 23

テーマ：◆介助犬を知ろう

◆患者の災害時への備えと対応

講師： 団体職員 古屋 道子

団体職員 徳増 猛

実施場所： シズウェル



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

- 「介助犬を知ろう」の研修会に参加された方の感想は
- 実際に介助犬の働きのデモンストレーションを見て、下の物を拾ってくれたりしたら助かるなあと思った。
 - 筋ジストロフィーの場合、病気の進行とかが早くとしまで一緒にいられるか、又犬の世話をきちんとできるかなどと考へてしまう。
 - 実際に介助犬を利用しQOLを高めている人がいることはすばらしい。
 - 全国で今20数頭が活躍しているとのこと、もっとこの働きが広まれば助けられる人が多くなると思う。
 - 実際に利用している人に会って話を聞いてみたいなどかあった。

療育研修会実施状況 静岡 支部

参加数 23

テーマ：◆介助犬を知ろう

◆患者の災害時への備えと対応

講師： 団体職員 古屋 道子

団体職員 徳増 猛

実施場所： シズウェル



実施を終えて (感想等)

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

- 「患者の災害時への備えと対応」の研修会に参加された方から
- 他人ごとではないから できることから始めようと思っただけ...。
 - 発電機・外部バッテリー(呼吸器)の準備は静岡では補助が出るとのことありありがたい。もう準備した。
 - 避難所は 障害のある人にとっては 利用できるか どうか わからない状況になる という事で どこに避難するか、大問題だと思っただけ、薬の備蓄も考えないと思っただけ。
 - 健常者と違い 食べ物に制限のある人は 誰か他人の備蓄もよく見て用意(なければ)と教わられた。
 - 協会でも 災害ダイヤル 117 を使うよう是非 無料でも 備わっていると同じくらい 訓練してほしい。の感想が寄せられました。